



第2660地区の今年度岡部Gは「純増何名と言う事をあえて申し上げない」という方針を打ち出されました。

まさに従来の拡大増強のあり方に一石投げられた形であります。

「数は力なり」という概念を少し横に置いて魅力あるクラブ作り、魅力有る会員探求、にシフトする。がしかし会員が多いクラブと、少ないクラブとでは、自ずと変わる事情が有るのも事実であります。

第2660地区クラブ会員数 (2011・4現在)

10～19	小規模クラブ	07クラブ
20～29	弱小クラブ	19クラブ
30～39	要注意クラブ	24クラブ
40～49	国際的平均クラブ	16クラブ
50～以上	活性化クラブ	18クラブ

以上のような会員構成では有りますが、少ない会員でも素晴らしい活動をしているクラブがたくさんあります。要はクラブが活性化しているかどうかの問題ではないかと思えます。

さて2011年度の増強セミナーがいちはやく6月4日大阪科学技術センターで開催されました。新年度より増強の最前線で活躍される各クラブ会長、増強委員長に参加して頂き、じっくりと今後の増強の在り方等について、東京城南RC 松下昌夫氏 (Renew the Spirit of Rotary) に講演して頂き其ののち、クラブ

の問題点や提案等で新会長、新増強委員長らとディスカッションを行いました。会員増強は、増強月間だからというのではなく、常に其の心もち、仲間を増やし、楽しくなければなりません。常日ごろから地域との交流を通じロータリアン以外の人にもロータリーイメージの向上にこころがけ、理解して頂く広報活動も会員増強に大きく影響致します。ゆえに会員増強し新会員を増やす事も大事ですが、それとは裏腹にいろんな事情で退会される方の会員維持にも大きく力を注ぎこんでほしいと思えます。

ロータリーの最大財産とは其れは疑いもなく我々ロータリークラブ会員一人ひとりです。この財産なくしてロータリークラブ意味が有りますか？何故会員増強が必要か、それはロータリーの生存に関わる問題だからです。新会員はロータリアンの未来だからです。

ロータリークラブとは

たくさんの仲間と出会います
いろんな勉強になります
仕事のためにもなります
趣味も増えます
何ととっても楽しいです